

平成26年度 徳島地区 技術開発懇談会を開催

平成26年11月27日に、徳島大学との技術開発懇談会を開催しました。

本懇談会は、大学の「研究成果(シーズ)」と四国地整の「事業を進めるために欲しい技術(ニーズ)」をお互いを知ることで、双方の研究や事業を効率よく進めるための情報交換の場となっています。

徳島地区では、徳島大学と、7事務所のメンバー48名がお互いの成果や、課題について報告し意見交換を行いました。



懇談会会場「徳島大学内」

【参加機関】

- | | |
|--------|--|
| 《大 学》 | 徳島大学 |
| 《四国地整》 | 徳島河川国道事務所、那賀川河川事務所
四国山地砂防事務所、吉野川ダム統合管理事務所
小松島港湾・空港整備事務所、高松港湾空港技術調査事務所
四国技術事務所 |

大学からは、「吉野川における砂州地形の変遷」「東日本大震災における石巻市の津波被害者の行動調査」の発表があり、河川維持や防災の取り組みの参考となる研究に多くの質問が寄せられました。

四国地整からは、「阿南安芸道路の計画段階評価」や「台風11号における那賀川の状況報告」の発表を行いました。

どちらも、地域住民への十分な説明を行い理解を得ることが重要であるとの意見が多く寄せられました。

また、「第十堰の現状調査に関する中間報告」「堤外地に働く人たち等を対象とした避難対策についての報告」を発表し、維持管理の重要性や避難対策の取り組み内容について質問がありました。

懇談会で出た意見が今後の業務・研究をより一層進めることを期待します。